

■2023 年度 A 日程 一般入学試験・実務経験者特別入学試験

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

〔問〕は、資料 1 について、移民・難民の受け入れについての筆者の見解とその論拠と結論を整理したうえで、資料 2 を参考として、これに対する反対の立場から検討し、さらに、各自の見解を問うものである。問にしたがい、整理した叙述が求められる。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1. 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2. 〔問〕について

資料 1 では、日本がすでに移民大国となっているものの、現状として受け入れが十分にできていないと評価する。移民・難民の受け入れが日本社会にとって有用であることを説き、治安の悪化を心配する反対論はエビデンスに欠けるとする。社会改革をした上で、優秀な移民・難民を受け入れるべきとする。

資料 1 の分析には、資料 2 にある移民・難民の受け入れ義務の有無という視点を欠き、受け入れ国である日本の社会への影響という観点からの分析にとどまる。経済的な観点だけでなく、社会的・文化的視点からの分析を行うことが必要といった批判が可能である。難民の受け入れに積極・消極の立場あるいは中間的見解のいずれを結論として採るかは問わない。自己の論拠を簡潔に示すことが求められる。

以 上